

関西環境教育合同研究大会（第5回）

主催 | 一般社団法人 日本環境教育学会 関西支部, 関西環境教育学会

2022.1.30 日

9:20～16:10
9:00～開場

開催方法

ハイブリッド方式

会場

京都橘大学 啓成館

環境教育はこれまで、環境に親しみ・環境を知り・環境をまもる教育であるとも、あるいは、環境の中での (in)・環境についての (about)・環境のための (for) 教育とも言われてきた。またそれらの教育は、段階的に、或いは同時並行的に捉えられてきたが、それらの関係や順序性については依然として曖昧なままである。一方、喫緊の今日的教育課題に対しては、例えば気候危機がそうであるように、education for climate change, education for climate action, education for climate justice 等々、「for」をつけて語られることが多い。このような状況を踏まえるに、我々はこれからの環境教育のあるべき姿としてそろそろ、親しむ・知る・まもる、あるいはin・about・forのその先にあるものを考えるべき時（地点）に来たと言えるのではなからうか。また、「for」の意味するものについての議論も深める必要があるだろう。

以上のような問題意識に立った時、これまでの、そしてこれからの主要な環境教育の領域（対象）であった（ある）自然保護、公害、気候危機に取り組んできた立場からは、本シンポジウムの主題に対してどのような答えを見いだし得るか、また、答えにはどのような共通性や独自性があるのかの検討を通して、これからのあるべき環境教育の姿について論じ合いたい。

■プログラム

- 9:00 開 場
- 9:20 一般研究発表
- 11:30 昼食・休憩
- 13:00 開会挨拶
- 13:10 シンポジウム「親しむ・知る・まもる、環境教育のその先はいかにあるべきかー自然保護教育、公害教育、気候危機教育を事例として」
コーディネーター：水山 光春 京都橘大学 教授
市川 智史 滋賀大学 教授
- シンポジスト
伊与田 昌慶 気候ネットワーク 主任研究員
林 美帆 水島地域環境再生財団 研究員,
公害資料館ネットワーク事務局
菅井 啓之 元 京都光華女子大学 教授
- 14:30 休 憩
- 14:40 ディスカッション
- 16:05 総括・閉会挨拶
- 16:10 終 了

■参加費 一般・大学院生 1,500円 (大学生 無料)

■参加申し込み方法

事前申込が必要になります (参加登録期限: 1月21日 (金) 23:59 締切)。以下のURLから必要事項を入力の上、お申込みください。 <https://forms.gle/f9CdPtCzsdbbC18K9>

■お問合せ先 関西環境教育合同研究大会 実行委員会
e-mail ee.kansai@gmail.com

その先はいかにあるべきか
自然保護教育, 公害教育, 気候危機教育を事例として

親しむ 知る まもる

環境教育の

■会場へのアクセス

京都橘大学 啓成館 1階 (京都市山科区大宅山田34)
京都市営地下鉄東西線 柳辻 (なぎつじ) 駅 下車, 徒歩15分
<https://www.tachibana-u.ac.jp/about/campus/access.html>

■オンライン参加方法 (Zoomミーティング)

参加お申込みされた方に、メールでミーティングURL, ミーティングID, パスコードを前日までにお知らせいたします。前日の正午の時点で確認できない場合はメールにてご連絡をお願いいたします。
ご自身のPC, タブレット, スマートフォンからインターネット接続でご参加ください。使用機器のウェブカメラ (内蔵または外部), マイク, スピーカーが接続されているかどうかをご確認の上, ご参加ください。

新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、オンラインのみの開催とする可能性があります。